

わがまち自慢⑦「ふたまたどお話の会」しおまねき

忠海東町では、「ふたまたどお話の会」しおまねきが、読み語りを通して、子どもたちや地域の人に読書の大切さや、地域の民話を伝える活動をしています。



「しおまねき」は、忠海東小学校の児童に読み語りをしようと、平成18年に発足しました。代表の水摩文子さんは、「大人になってから絵本を読んで、その良さに気付き、心が豊かになったと感じています。」と、絵本の力を実感し、地域の子どもたちが絵本を好

きになってほしいという思いで活動しています。



現在は、忠海東小学校や忠海東部保育園で毎月絵本の読み語りを行うほか、忠海東公民館に「しおまねき文庫」を開設し、月二回子どもたちに貸し出しと読み語りをしています。さらに、公民館の行事で、紙芝居・ペープサート・影絵を披露するなど、幅広く活動しています。聞き手に物語の面白さを伝えるため、個々の声の特性を生かした読み語りや滑舌・読み方・アクセントの練習

を行い、聞きやすく、心に響くよう工夫しています。

今年度は新たな取組みとして、二窓地域に伝わる昔話をもとに、「海鼠と若者」、「おいせの池のくじらごん」の紙芝居のDVDを制作中です。この取組みは、メンバーが地域の民話や風習を次世代へ伝承する「語り部」になり、民話に登場する風景や人々の営みにふるさとの歴史を感じて、郷土を愛する気持ちを育みたいという思いからの試みとのこと。地域と子どもたちの架け橋となるこの活動が、今後子どもたちの心に残ってほしいですね。



▲DVD制作風景

かぐやパンダ通信



市民のみなさんと
かぐやパンダ体操

このところ、かぐやパンダは、「かぐやパンダ体操」の映像化を目指して、市内各地で活動中。多くの市民のみなさんにご協力いただき、撮影に励んでいます。かぐやパンダ体操は、障害のある人もない人も参加しやすいように、優しい動きで構成されています。先日は、介護予防教室で、65歳以上のみなさんと体操を行いました。障害福祉について考えるきっかけになるように、カメラの前で元気いっぱい体操したかぐやパンダ。完成が待ち遠しいですね。

ティータム

2月は暦の上で感じるだけの春でした。3月は花や草木、虫たちなど目に見える春がやってきます。日中、外が暖かいと気分がイイですね。ホントもうすぐ春ですね、ちよつと気取ってみませんか！

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,186人
男	13,393人
女	14,793人
世帯	12,800世帯
1年前	28,703人
5年前	29,982人

— 2月1日現在 —

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課
「市長への私の提案」係 FAX 22-0998
※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。